

平成 24 年度 日本薬剤師会 近畿・大阪ブロック会議

日時：平成 24 年 7 月 22 日（日）13:00～17:15

場所：ホテルアウィーナ大阪

報告：副会長 大村 洋子

- 1、挨拶
  - 大阪府学校薬剤師会連合会 会長 岡内重信先生
  - 社団法人滋賀県薬剤師会 常務理事 大迫芳孝先生
  - 公益社団法人日本薬剤師会 理事 村松章伊先生

- 2、日本薬剤師会学薬部会より、村松章伊先生から報告があった。
  - ・平成 23 年 4 月～日本薬剤師会の中に、日本学校薬剤師部会が設立。基本的に、事業はそのまま継続されるが、進め方が承認をとるうえでこれまでより少し遅くなる場合がある。
  - ・日本薬剤師会は、次のブロックで構成されている。  
北海道・東北・**関東・東京**・北陸・信越・**近畿・大阪**・東海  
**中国・四国**・九州 （・・・学薬部会では、合同となる）
  - ・今後、負担金など検討事項となる。

\* 学校薬剤師部会担当役員

- ・部会長（副会長）：藤垣哲彦先生（理事）：村松章伊先生
- ・評議委員：日高華代子先生 石川優子先生
- ・監事：豊見雅文先生
- ・日本学校保健会：村松章伊先生

3、各府県学校薬剤師会からの事業報告ならびに事業報告

滋賀県・京都府・京都市・大阪府・神戸市・兵庫県・奈良県・和歌山

4、各府県市の学校薬剤師会の自由発表

（滋賀県）平成 23 年度、近畿ブロックとして、共同研究に取り組んだ報告「A TP ふきとり検査を活用した学校給食調理施設の衛生調査事業報告」

（京都市）学校薬剤師会研修について

研修会の在り方を工夫したら、参加人数が増加した

（神戸市）「学校環境衛生検査結果の統計利用について」集計作業に、手間取るため、会員が Web からデータを入力する形式に変更。（エクセル）

（奈良県）「奈良県学校薬剤師会の薬物乱用防止への取り組み（小中学校の意識調査）実施率が低迷しているため、受け入れ側問題点を探り、学校側へアンケートを依頼して、学校薬剤師会として実施率向上をめざして模索。

（奈良県）「少子化により生徒数が急減した学校の水道水検査でみえた問題」生徒数が、S 6 1 : 9 9 0 名 H 2 2 : 4 0 6 名と、約半分に減少。水道水の遊離残留塩素が、未検出であった。（原因）生徒数が減ったため水の循環が悪い。（対策）高置水槽の容量を減らす。直結にする。（この場合、高置水槽は撤去しないで、雑用水として利用）

（和歌山県）「学校飲料水における従属栄養細菌の調査」

（京都府）「心に響く薬物乱用防止教育」中学生の生徒に絵を、描いてもらい、学校薬剤師が、紙芝居形式で行う。語りかけるように話して心に届ける。

（大阪府）「大阪府立高等学校の教室内空気環境調査について」

熱交換型換気扇・加湿器の使用状況と教室内二酸化炭素濃度の推移について 5、今後は近畿・大阪ブロック会議【近畿学校薬剤師連絡協議会】として、共同で調査、研究をしてこれからも学校保健について研鑽を深める。

\* 懇親会（17:30～19:30）も盛会であった。 次回は、滋賀県で開催される。

「医薬品」に関する教育の考え方・進め方他

